

はくもくれん

加須市立不動岡小学校
学校だより 5月号
令和7年5月1日 No.2



学校教育目標

「考える子

助け合う子

元気な子」

校長 大勝 進



「考える子」

What a wonderful school!!

けやきの木に新しい葉っぱが出てきました。季節は春から初夏に、新緑がまぶしい時期になってきました。

先日、地域の方からご依頼がありました。オーストラリアから来日した友人が学校を見学したいと話している、見せていただけないか？ということでした。本校を海外の方にPRするいい機会でもあると考えたため、お招きしました。

当日、地域の方と2名の女性がいらっしゃいました。1人はオーストラリアで児童数約100名の小学校の校長先生、もう1人はオーストラリアで生徒数約750名の中等教育学校（中高一貫校）の校長先生でした。校長室で、地球儀をみながら、「オーストラリアの人口は東京の人口のおよそ2倍だ。」「オーストラリアの国土はアメリカ合衆国と同じくらいだ。」「オーストラリアにはたくさんの資源がある。」そんな会話からコミュニケーションが始まりました。

せっかくだから校内を見て回りましょう、ということで特別教室や教室を見て回りました。2人とも興味津々で、「この黄色いバッグは何だ？」「なぜ、こどもたちは黄色いヘルメットをかぶって登下校しているんだ？そんなに地震が多いのか？」「表と裏が白と赤の帽子の役割は何だ？」わたしたちにとっては当たり前の学校文化が海外の方からみたら、とても新鮮だったようです。

2年生が漢字の学習をしていました。それをみていた2人は、「わたしたちは26文字のアルファベットの組み合わせしか言葉は使わないが、日本人はひらがな、カタカナ、漢字、そしてアルファベット、たくさんのツールを巧みに使っている。みんなは素晴らしい。」と声をかけてくれました。また6年生の教室では、こどもたちがキャーキャー言いながら、日本語と少しの英語を混ぜ合わせて、「〇〇先生、一緒に写真撮って。」「〇〇先生、またきてね。」など臆することなく堂々と2人の外国人とコミュニケーションしていました。こどもたちがわたしたちの目指す姿に近づいていることを確信した瞬間でした。

2人はとても喜んでお帰りになりました。帰り際には「What a wonderful school! Your school is amazing. Children are beautiful children.」と感激してくれました。

